

重症患者の患者・家族メンタル支援センター

国際医療リスクマネジメント学会理事長 / 日本医療安全学会理事長

酒井亮二

癌、重篤な小児疾患、終末期の患者、医療事故で最愛の家族を失うこと...

このように、重篤な患者とその家族は甚大な悲痛に会う。病苦による自殺者は後を絶たない。

医療の本質は患者の病苦に対峙することにある。難病が治った時、患者・家族そして医療者は大きな歓喜に包まれる。

従って、治療過程でも重大な病気を抱える患者と家族のメンタルをサポートすることも医療の大きな使命である。

全国の医療機関で患者・家族メンタル支援センターを設置し、保健所などにもそのような窓口を設定できれば、人々はつらい苦しみを少しでも開放される。

電話での医療相談に対して診療報酬がつくが、これは患者・家族へのメンタル支援の一部である。従って、より広範囲に患者・家族メンタル支援に対する診療報酬の加算をすることによって、医療はより人々の心に立ち向かう世界になると考えられる。

